

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 森林レクリエーションの振興	② 施策番号	3436
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 森林の保全と活用		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	森林
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	本市の山間部にある農業公園や堀河ダムの周回道路沿い、市民の里の周辺の桜は本市の重要な観光資源の一つであり、来訪者や市民に身近に自然にふれることのできる憩いの場となっている。そのため、これらを充実させることにより森林をレクリエーションの場として振興を図る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	林野庁では、国有林を多様で豊かな自然環境や森林・林業に関する知識と経験を備えた人材等を活用し、森林とのふれあい、森林環境教育の推進、国民参加の森林づくり等の場として提供している。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 農業公園年間利用者 計算式	人	農業公園の年間利用者数により、農業公園の魅力づくりの進展が読み取れるため。
② 堀河ダム周辺の修繕件数 計算式	件	堀河ダム周辺の修繕件数により、レクリエーションの場として堀河ダム周辺が美しく保たれているかが読み取れるため。
③ 計算式		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 農業公園年間利用者	人	目標値			53,000	55,000		
		実績値	40,000	50,000	53,000	—	—	
		達成率						
② 堀河ダム周辺の修繕件数	件	目標値			5	5		
		実績値	4	5	5	—	—	
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方針	
1 農業公園維持管理事業	利用者数	人	50,000	53,000	53,000	13,019	11,034	11,541	A	ア	◎
2 農業公園アクセス事業	バス乗車数	人	1,409	1,270	1,198	1,299	1,303	1,134	A	ア	
3 林業振興事業	修繕件数	件	5	5	5	1,485	2,477	2,345	A	ア	○
4											
5											
6											
7											
8											
計	3					15,803	14,814	15,020			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	森林をレクリエーションの場として振興を図ることは、市民が森林とのふれあい、森林環境への理解、市民参加の森林づくりにつながり、上位施策の森林の保全と活用に貢献する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	バラ園がオープンして6年目、来訪者数も伸び悩んでいる状態となり、新たな農業公園の自然を活用した公園づくりが必要であること、堀河ダム周辺は適宜修繕を行っており、一定美しく保たれていることが読み取れる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	役割分担を行いながら、地元や林野組合など関係団体などと連携を図っているが、市民(団体)等との関わりがあまりないため、今後は取り入れていく必要がある。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	事務事業の内容から、適正に構成されている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	森林レクリエーションの場として活用していくためには、美しい状態を保つ必要があり、これらの事務事業は重点化すべきと考える。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	C	堀河ダムや市民の里周辺、農業公園を含めた本市の山間部を来訪者や市民に身近に自然にふれることのできる憩いの場とするため、関係団体等に加えてNPOなどの市民団体と連携を図る必要がある。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	里山保全・自然・観光等をテーマに活動しているNPOなどの市民団体と連携を図り、堀河ダムや市民の里周辺、農業公園の維持管理について検討する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	宝くじ桜寄贈事業に応募するなどの苗の調達を行い、NPOなどの市民団体と協働し、維持管理を行うとともに自然に触れるレクリエーションの場を提供する。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	C	本市の山間部における豊かな自然空間が身近な憩いの場として引き続き利用されるよう計画的な保全を実施されたい。 また、観光資源としての情報発信を図るなど、関係団体等との連携による施策達成に向けた取組や展開を進められたい。	